



Japan. Meetings & Events
New ideas start here

MICEの誘致・開催の取組について

平成28年9月

観光庁参事官（国際会議等担当）

1. MICEとは
2. 世界の国際会議開催トレンド
3. 政府におけるMICEの位置づけ
4. MICE誘致政策概要
5. 観光庁/JNTO 誘致支援の具体的な取組

MICEとは

- MICEとは、ミーティング、インセンティブ、コンベンション、エキシビション／イベントを総称した用語である。これら個々の大まかな概念は下記の通りである。
 - ミーティング(M): 主に企業がグループ企業やパートナー企業などを集めて行う会議、大会、研修会等の会合(=コーポレートミーティング)。
 - インセンティブ(I): 企業が従業員やその代理店等の表彰や研修などの目的で実施する旅行のことで、企業報奨・研修旅行と呼ばれるものである。
 - コンベンション(C): いわゆる国際会議であり、学会や産業団体、さらには政府等が開催する大規模な会議を一般的に指す。
 - エキシビション・イベント(E): 国際見本市、展示会、博覧会といったエキシビションとスポーツ・文化イベントなど大小さまざまなものが含まれる広範な概念である。

Meeting

企業等のミーティング等。
例: 海外投資家向け金融セミナー、グループ企業の役員会議 等

Incentive (Travel)

企業が従業員やその代理店等の表彰や研修などの目的で実施する報奨旅行のこと。企業報奨・研修旅行とも呼ばれる。
例: 営業成績の優秀者に対し、本社役員によるレセプション 等

Convention

国際団体、学会、協会が主催する総会、学術会議 等。
例: 北海道・洞爺湖サミット、国連防災世界会議、世界水フォーラム、国際眼科学会、世界牛病学会 等

Exhibition / Event

文化・スポーツイベント、展示会・見本市。
例: 東京国際映画祭、世界陸上競技選手権大会、国際宝飾展、東京モーターショー 等

※ インセンティブやコンベンションを含めて広義のミーティングとも一般的に呼称される。
欧米諸国などではMICE全般を指してビジネスミーティング、ビジネスイベントと称する場合も多い。

(1) 高い経済効果

MICE開催を通じた主催者、参加者等の消費支出は、開催地域を中心に大きな経済波及効果を生み出す。

経済波及効果の算出例

日本で1.7万人規模の国際会議が開催された場合

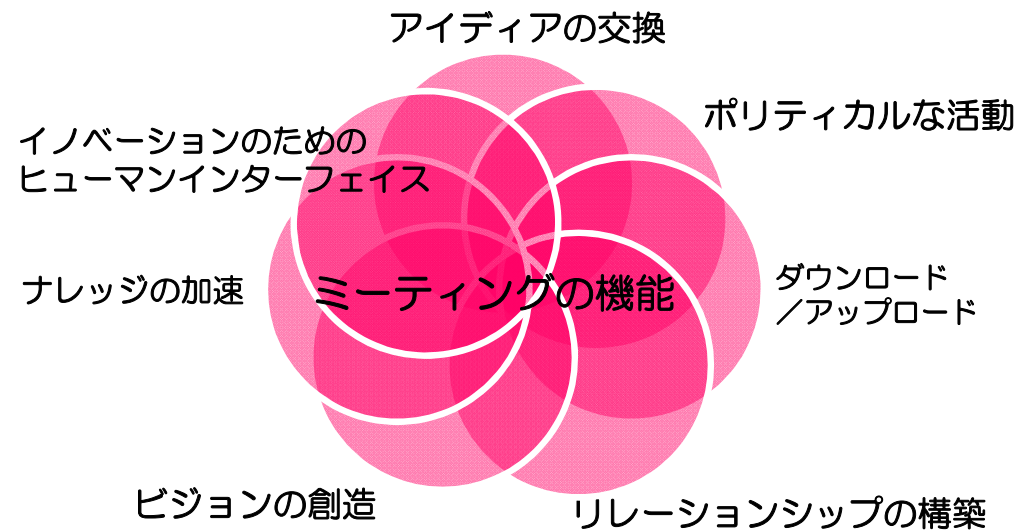
- ・経済波及効果 : 約 82 億円
- ・誘発税収額 : 約 4.4億円(国税)

出所)MICE開催による地域別経済波及効果簡易測定モデルにて試算

(2) ビジネス機会やイノベーションの創出

MICE開催は、ビジネスや研究分野の海外参加者と我が国参加者の人的ネットワーク形成や知識・情報の共有に大きな効果。これらを通じて、新たなビジネス機会を生み出し、科学技術の発展・イノベーションの創出に大きく資する。

MICEの機能



(3) 都市の競争力・ブランド力向上

MICEを通じた人や情報の交流・流通、ネットワーク構築の容易さなどは、都市の競争力・ブランド力向上に寄与する。

出所)ICCA2012総会におけるPricewaterhouseCoopers講演より作成

MICEとは — 一般観光と国際会議の違い

	一般観光	国際会議
主体(主催)	個人	学協会等(主に法人)
都市滞在期間	1都市1~2泊	会議開催中は1都市滞在
旅程	主要観光地を周遊	会議開催地から プレ・ポストツアーの実施
支出傾向	宿泊・交通費・飲食 費・おみやげ等 支出額: 134,521円/人 <small>資料: 訪日外国人消費動向調査(2015年)</small>	左記 + <u>主催者による会議場・ 宴会場・通訳等々の利用有</u> 支出額: 307,000円(US \$ 2,540)/人 <small>資料: ICCA統計2013</small>

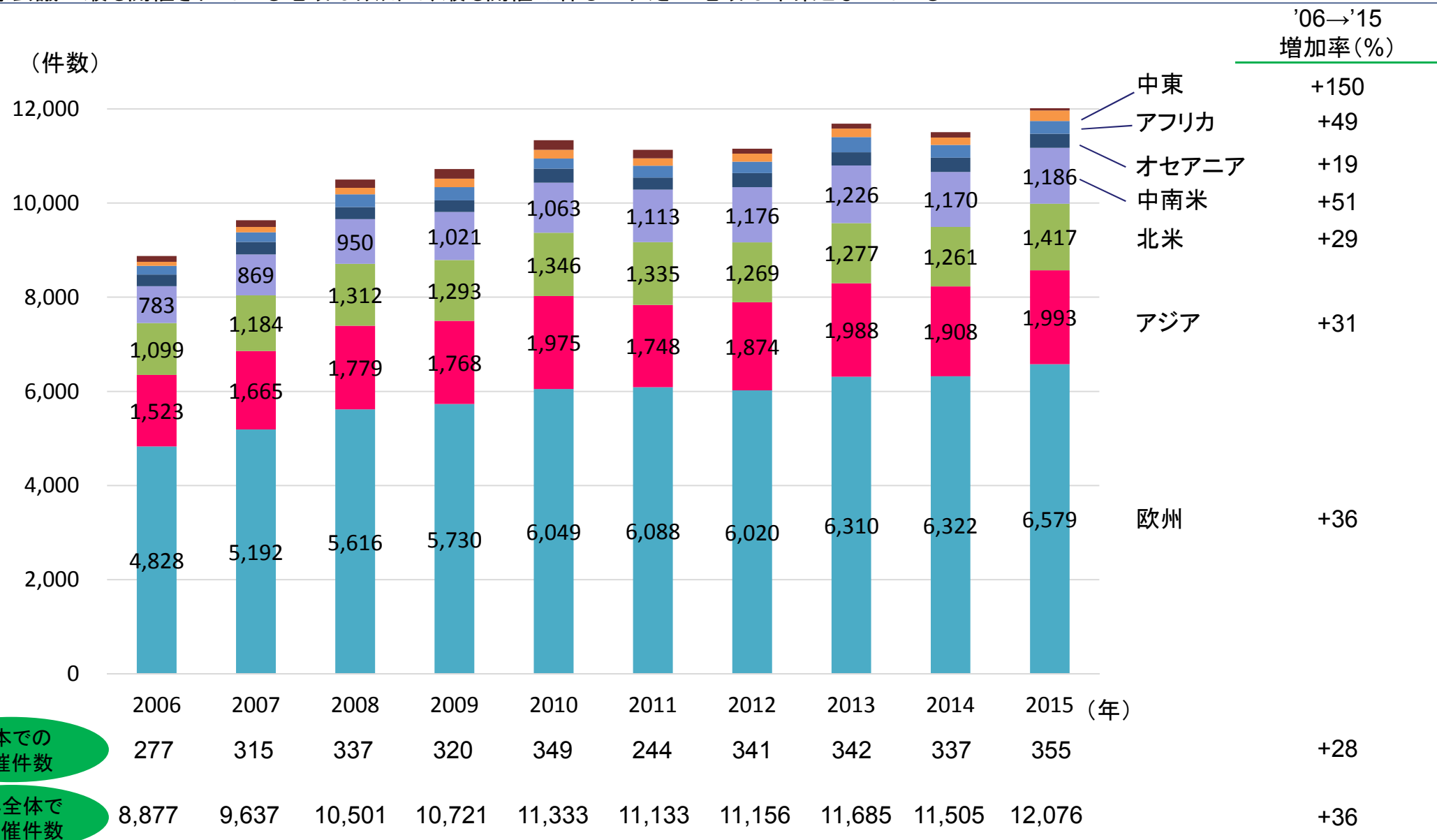
⇒ 開催地への経済波及効果が高い

1. MICEとは
2. 世界の国際会議開催トレンド
3. 政府におけるMICEの位置づけ
4. MICE誘致政策概要
5. 観光庁/JNTO 誘致支援の具体的な取組

世界の国際会議開催件数の推移(2006~2015)

○直近10年で、世界の国際会議は+36%増加したが、日本の国際会議は+28%の増加にとどまっている

○国際会議が最も開催されている地域は欧州で、最も開催の伸びが大きい地域は中東となっている

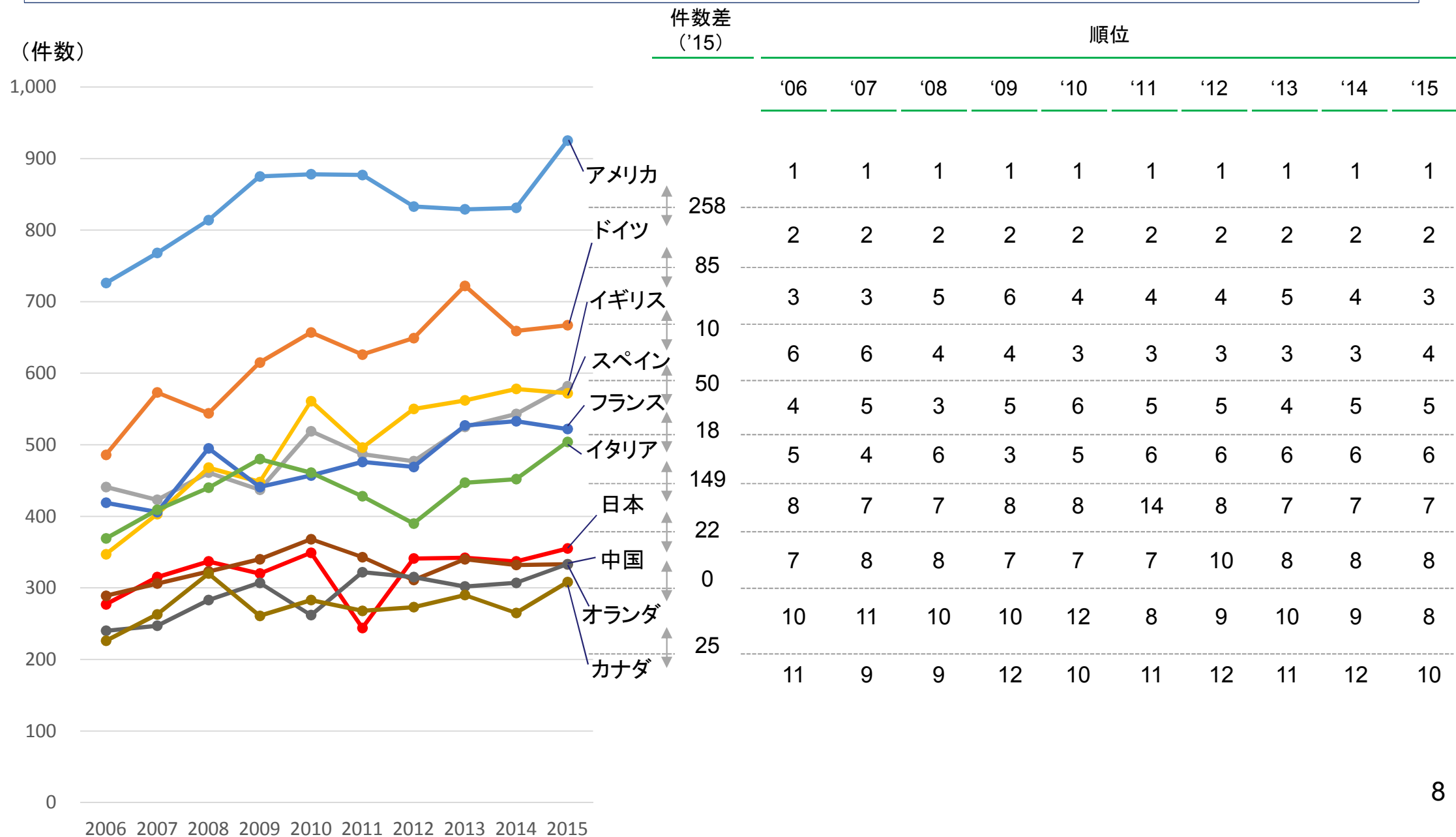


出典: ICCA (A Modern History of International Association Meetings 1963-2012)、ICCA Statistics Report (2013, 2014, 2015)

注: 開催件数が少なく、レポートで「others」とまとめられた会議については地域分類が不可能なため、地域分類を行っていない

国際会議開催件数上位10カ国(2015年)のこれまでの件数推移と順位推移

- 国際会議の開催件数が最も大きい国はアメリカで、上位は欧州が占めている
- 日本は、直近7位で維持してきており、6位のイタリアとは149件の差がある

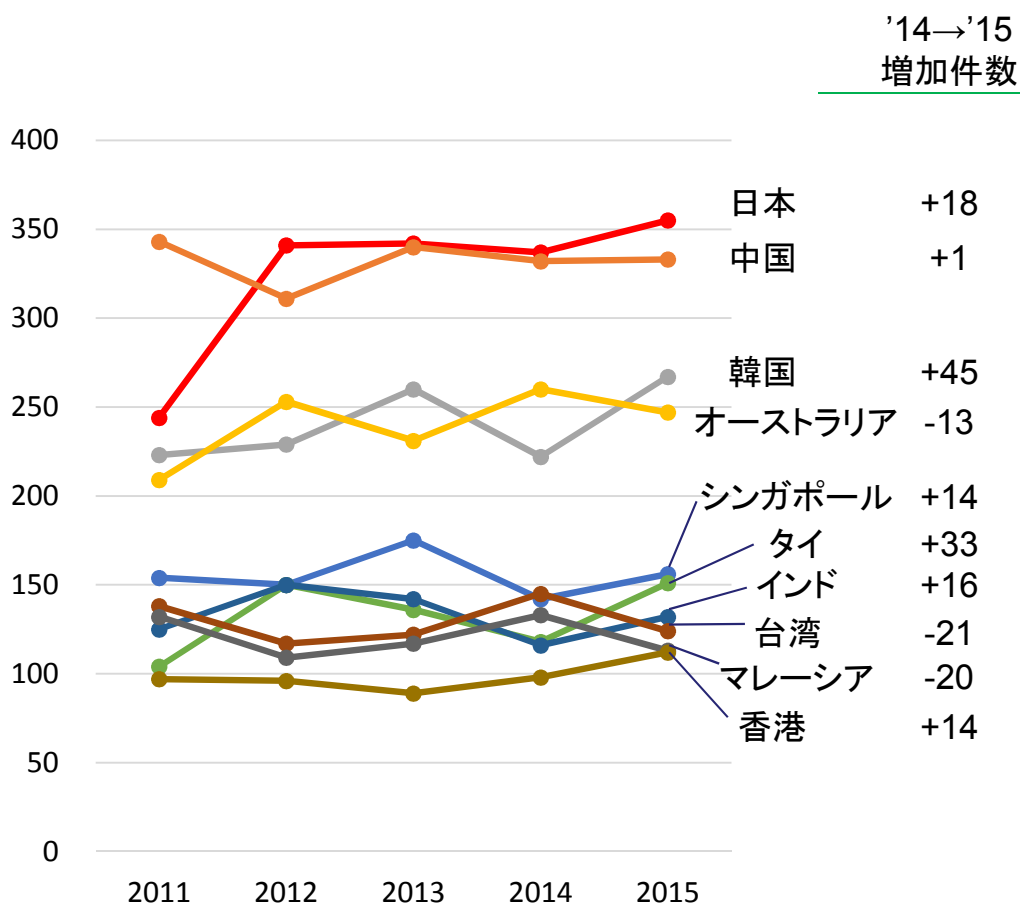


アジア・大洋州の国別 / 都市別国際会議開催件数の推移

- アジア・大洋州では、日本の国際会議の件数は1位となっているが、対前年比では、韓国/タイが大きく件数を伸ばしている
- 都市別で見ると、国内で最も開催件数の多い東京がアジア・大洋州で8位となっている
- 直近ではバンコク、マニラ、ソウル、福岡などの都市が大きく開催件数を伸ばしている

アジア・大洋州における国際会議開催件数の推移(国別¹⁾)

アジア・大洋州における国際会議開催件数の推移(都市別、上位15都市)



	2011	2012	2013	2014	2015	14→'15 増加件数
シンガポール	154	150	175	142	156	+14
ソウル	106	100	125	99	117	+18
香港	97	96	89	98	112	+14
バンコク	69	105	93	73	103	+30
北京	123	109	105	104	95	-9
台北	86	80	78	92	90	-2
シドニー	59	86	93	82	86	+4
東京	50	69	79	90	80	-10
クアラルンプール	80	69	68	79	73	-6
上海	78	64	72	73	55	-18
メルボルン	62	54	52	61	54	-7
京都	34	61	43	47	45	-2
マニラ	27	31	28	22	41	+19
ニューデリー	41	48	35	35	41	+6
パリ	38	47	55	38	40	+2
アブダビ	8	22	23	22	35	+13
釜山	27	32	34	35	34	-1
済州	37	33	45	41	34	-7
福岡	19	23	12	15	30	+15
オークランド	22	18	19	19	28	+9
ブリスベン	24	40	25	37	28	-9
マカオ	11	8	16	23	28	+5
杭州	15	15	17	17	27	+10

1. 2015年の開催件数が100件以上を対象としている

出典:ICCA(A Modern History of International Association Meetings 1963-2012)、ICCA Statistics Report(2013,2014,2015)

国際会議開催都市の開催件数/順位推移(国内)

○ICCAランキングに掲載のある国内都市について、その都市が開催した件数が最も多かった年は、直近4年以内のケースが多い
 ○一方で、順位に着目すると、海外の都市の開催件数の増加により、最高順位をマークした年は、それ以前のケースが多い

国際会議開催件数の推移

国際会議開催都市の順位推移

2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015

2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
東京	32	47	68	58	68	57	69	79	90	80
京都	18	31	28	37	42	29	61	43	46	45
福岡	5	10	7	10	14	19	23	12	15	30
大阪	10	12	11	15	16	19	11	20	10	23
横浜	15	15	24	25	25	16	18	17	18	22
札幌			15	11	16	7	16	13	19	18
名古屋		8	10	9	7		11	15	11	14
神戸	10	9	11	9	13	14	22	18	15	13
沖縄			6	6		6		9	16	13
仙台		11	7	8	8		6	5	6	9
つくば		7	7	12	11	5	11	8	9	9

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
東京	35	28	19	28	27	34	31	26	22	28
京都	69	43	50	42	45	69	36	55	54	57
福岡	209	135	202	171	129	109	97	193	164	85
大阪	118	114	141	114	112	109	207	117	222	115
横浜	86	89	65	68	70	132	125	148	134	117
札幌			108	153	112	273	142	182	125	139
名古屋		168	153	183	249		207	159	208	182
神戸	118	150	141	183	139	150	100	136	164	191
沖縄			234	260		312		242	152	191
仙台		120	202	214	215		319	371	318	254
つくば		186	202	139	159	345	207	265	240	254

1. MICEとは
2. 世界の国際会議開催トレンド
3. **政府におけるMICEの位置づけ**
4. MICE誘致政策概要
5. 観光庁/JNTO 誘致支援の具体的な取組

明日の日本を支える観光ビジョン構想会議

訪日外国人旅行者数2000万人の目標達成が視野に入ってきたことを踏まえ、次の時代の新たな目標の設定とそのために必要な対応の検討を行う。

【議長】 内閣総理大臣

【副議長】 内閣官房長官、国土交通大臣

【構成員】 副総理兼財務大臣、
地方創生担当大臣、
一億総活躍担当大臣、
総務大臣、法務大臣、外務大臣、
厚生労働大臣、経済産業省、民間有識者



〈会議で挨拶する安倍内閣総理大臣〉

第1回（平成27年11月9日）

第2回（平成28年3月30日）



平成28年3月30日
「明日の日本を支える観光ビジョン」
決 定

明日の日本を支える観光ビジョン構想会議 ワーキンググループ

【座長】 内閣官房長官

【座長代理】 国土交通大臣

【構成員】 関係閣僚等



〈会議で発言する石井国土交通大臣〉

第1回（平成27年12月1日）
第2回（平成27年12月7日）
第3回（平成27年12月10日）
第4回（平成27年12月18日）
第5回（平成28年1月20日）
第6回（平成28年1月26日）

◆明日の日本を支える観光ビジョン

(明日の日本を支える観光ビジョン構想会議 平成28年3月30日)

MICE誘致の促進

- MICEの誘致促進に向け、政府レベルで支援する体制を構築するため、関係府省連絡会議を年内に新設し、以下の取組を実施。
 - レセプションでの国立施設の使用許可
 - ポスト・コンベンション/展示会向け施設の拡充
 - グローバル企業のビジネス活動を支える会議施設等の整備への支援

- 将来的に、官民連携の横断組織を構築し、オールジャパン体制での支援を実施

「観光ビジョン実現プログラム」2016 【MICE誘致の促進】

◆観光ビジョン実現プログラム2016(観光立国推進閣僚会議 平成28年5月13日)

- MICEの誘致促進に向け、政府レベルで支援する体制を構築するため、関係府省連絡会議を年内に新設し、以下の取組を実施。

・レセプションでの国立施設の使用許可

・ポスト・コンベンション/展示会向け施設の拡充

・グローバル企業のビジネス活動を支える会議施設等の整備への支援 等

・MICE誘致・開催を政府横断的に支援するため、観光庁が事務局となり、年内に「MICE推進関係府省連絡会議」(仮称)を設置し、政府横断的に支援するMICE案件について支援策の検討等を進める。【新規】

・ユニークベニューの利用拡大・普及促進のため、施設管理者と利用者のニーズの齟齬や課題を整理し、施設側とも課題について情報共有を行う。また、海外の先進事例、特に国や政府関連施設のユニークベニューの運営方法等を調査し、国内の公的施設をユニークベニューとして活用する上での方策を検討する。【新規】

・ユニークベニューの利用拡大・普及促進のため、施設管理者と利用者のニーズの齟齬や課題を整理し、施設側とも課題について情報共有を行う。【新規】<再掲>

・グローバル企業のビジネス活動を支える会議施設、外国語対応医療施設等について、これらの施設を整備する民間都市開発事業に対する支援制度を創設するとともに、民間都市開発推進機構の金融支援(共同型都市再構築業務・メザニン支援業務)を拡充することにより、当該施設の整備を促進する。【新規】

・MICEの意義を幅広い層に説明する観点から、MICE主催者や参加者に対し、アンケート調査等によるデータの収集を行い、MICEの経済波及効果を調査する。【新規】

・インセンティブ旅行のデスティネーションとして日本をPRするための都市の情報を集めた情報集約サイトを構築し、インセンティブ旅行の誘致を促進する。また、海外からのインセンティブ旅行のベストプラクティスについて、表彰を行い国内外での周知を図る。【新規】

・国内外のステークホルダーに対し、国内主催者向けセミナーや海外MICE見本市等あらゆる機会を活用し、MICEブランドの周知及びプロモーションについての検討を行う。【新規】

・国際的に有力なMICE主催者との関係を構築してMICEデスティネーションとしての日本のプレゼンスを上げる観点から、JNTOはMICEの国際団体が主催するイベントや商談会等への参加及びこれら団体の理事会の日本開催を通じ、グローバルネットワークの構築・強化を図る。【新規】

・コンベンションビューローのMICE誘致に関して国際競争力・体制強化のために、グローバルMICE強化都市に対して、マーケティングの高度化に向けた支援事業を実施する。加えて、国内のコンベンションビューローの誘致競争力を高めるために、海外におけるコンベンションビューローの誘致に向けた取組の調査を実施する。【新規】

・JNTOは、各地方自治体のコンベンションビューローと連携し、大学教員・研究者等国際会議主催者及び大学・学協会事務局を対象とするセミナー等を実施し、国際会議誘致・開催の重要性の普及・啓発を行い、大学教員・研究者が国際会議の誘致・開催に取り組みやすい環境の整備を促進する。【新規】

・日本国内で開催されるイベントに積極的に訪日外国人を呼び込み、インバウンド効果を最大限に実現させるため、イベントに関する情報提供をJNTOのネットワークを活用し実施する。【新規】

・観光庁・JNTOが中心となって行うMICE誘致に向けて、JETROは連携して地域の生産現場の見学、企業関係者との意見交換会、ファムトリップ等の産業観光プログラムの充実を図る。【改善・強化】

- 将来的に、官民連携の横断組織を構築し、オールジャパン体制での支援を実施

◆日本再興戦略2016(平成28年6月2日閣議決定)

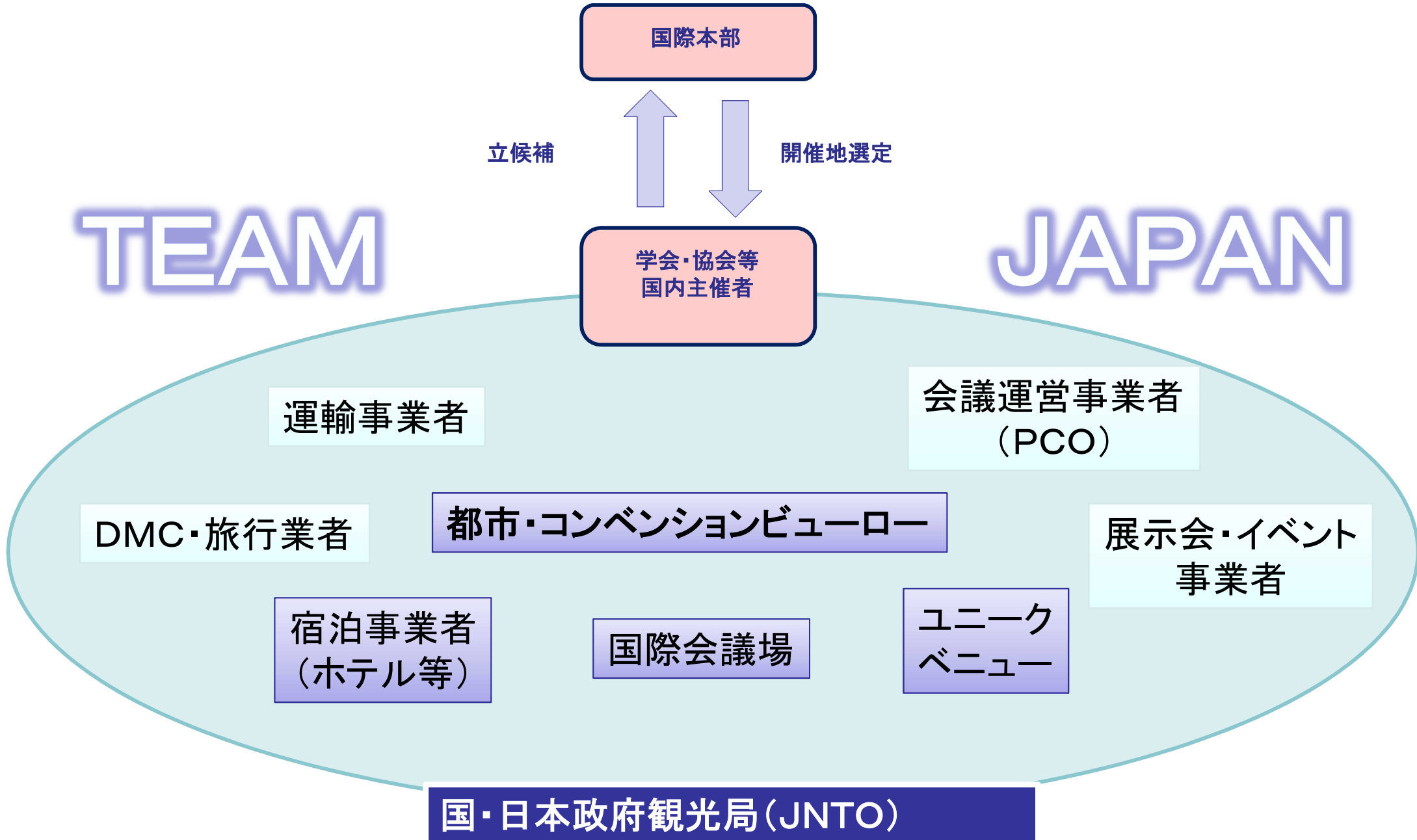
⑨MICE誘致の促進

・年内に「MICE推進関係府省連絡会議(仮称)」を設置し、政府横断的に支援するMICE案件について支援策の検討等を進めるとともに、以下の取組を実施する。

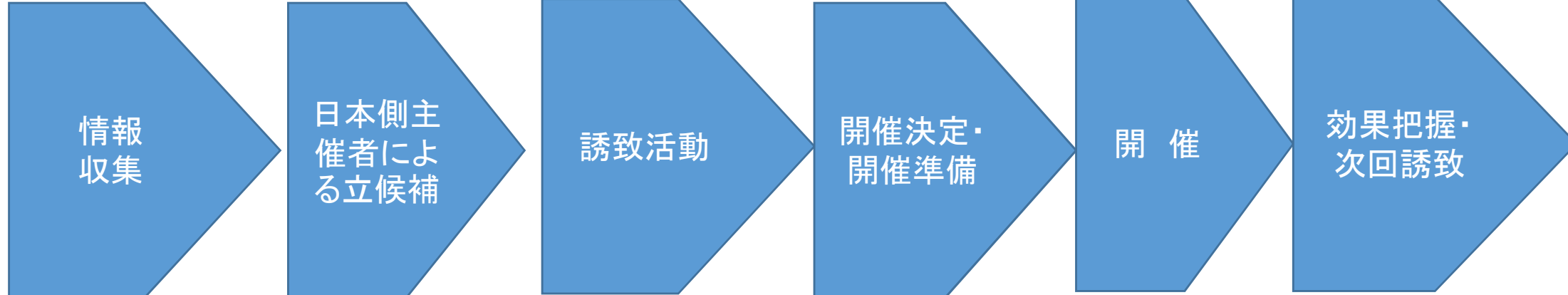
- コンベンションビューローのMICE誘致に関して国際競争力・体制強化のために、グローバルMICE強化都市に対して、マーケティングの高度化に向けた支援事業を実施する。
- ユニークベニューの利用拡大・普及促進のため、施設管理者と利用者のニーズの齟齬や課題を整理し、施設側とも課題について情報共有を行う。

1. MICEとは
2. 世界の国際会議開催トレンド
3. 政府におけるMICEの位置づけ
- 4. MICE誘致政策概要**
5. 観光庁/JNTO 誘致支援の具体的な取組

国際会議の誘致に関わるプレイヤーの相関図



MICE誘致のフロー



◆海外**MICE**
見本市に出展



◆国際団体
データベース
の検索

①**日本側ホス**
トが日本開催
の意思表示

②**国内候補**
都市を選定

③**国際本部へ**
立候補書類
提出
※招請状添付

◆開催地決定
権者等へ日本
開催の必要性
を説明

◆招請・視察
受入



◆総会・理事
会等で**開催地**
アピールのプ
レゼン実施

◆投票等によ
り**開催地決定**

日本に
決定



- ①**事務局の組織**
化
 - ②会場調達・プロ
グラム作成等
 - ③参加者募集
 - ④寄附金募集
- 等

◆ウェルカム
スピーチ



◆開催都市等
による各種開
催支援プログ
ラムの利用



◆開催による
経済効果

◆参加者交流
による**地域活**
性化

◆**学術研究・**
産業連携の進
展・波及

◆**訪日再訪意**
欲促進

↓
★誘致活動・
開催効果の評
価

★次の誘致活
動の計画策定

主なMICE誘致政策(概要)

観光庁

グローバルレベルのMICE都市の育成

● グローバルMICE都市の育成

ー外国人専門家によるマーケティング戦略の策定、誘致活動についてのコンサルティング等を実施することにより、MICE誘致力を強化する都市を育成

(第1期:H25)

7都市

東京、横浜、京都、神戸、福岡、大阪、名古屋

(第2期:H27)

5都市

札幌、仙台、千葉、広島、北九州

地域のMICE誘致力強化

● ユニークベニューの活用促進

ー博物館や歴史的建造物、世界遺産等のユニークベニューを活用したMICE開催の普及・啓発

● MICE経済波及効果の調査

ーMICEの経済的意義を広く啓蒙・普及させるために、MICE開催による経済波及効果に関する調査を行う。

政府関係者連携による誘致力強化

● 政府の横断的体制の構築

ー年内に関係府省連絡会議を新設し、ヨコのつながりを強化することによりMICEの誘致・開催を促進

MICE誘致・開催のためのプロモーション強化

MICEブランドの構築

● MICEブランドの構築

ー海外の主催者に対し日本のMICEブランドの認知度向上と差別化を図ることで、日本でのMICE開催を誘致するための広報活動の支援を図る

誘致対象掘り起こし

● 海外MICE見本市への出展

ー海外における主要MICE見本市にブースを出展し、コンベンションビューローやサプライヤー等の共同出展者の商談をサポート

● MICE専門誌の招請

ーMICE専門誌等メディアを招請し、記事広告等を作成することで、MICE開催地としての日本の認知度を向上

誘致活動

● MICE誘致アンバサダープログラム

ー具体的な国際会議の誘致案件を持つ学会関係者等をMICE誘致アンバサダーに認定し、誘致活動を支援し、研究者等のMICE誘致環境を改善

● MICEキーパーソン招請

ー国際会議の開催地決定権者等を日本に招請し直接的にPR

JNTO

1. MICEとは
2. 世界の国際会議開催トレンド
3. 政府におけるMICEの位置づけ
4. MICE誘致政策概要
5. 観光庁/JNTO 誘致支援の具体的な取組

MICEの誘致・開催の促進

平成28年度概算決定概要(全体像)

「2030年には、アジアNo.1の国際会議開催国としての不動の地位を築く」(「日本再興戦略」改訂2015)との目標を達成するため、以下を実施

- ①グローバルレベルのMICE都市へと成長するポテンシャルを有する都市の育成
- ②地域のMICE誘致力の強化(ユニークベニューの開発・利用促進、コンベンション・ビューローの組織強化・高度化)
- ③MICE誘致・開催のためのプロモーションの強化

グローバルレベルのMICE都市の育成

中規模程度の国際会議の确实・継続的な誘致を実現できるグローバルレベルのMICE都市の育成を目的として、平成27年度にグローバルMICE強化都市を選定(札幌、仙台、千葉、広島、北九州)

グローバルMICE強化都市への重点的支援

グローバルMICE強化都市に対して

- ・市場/競合都市の調査分析
 - ・海外アドバイザー派遣
 - ・ステークホルダーの連携促進
- 等により継続的かつ重点的に支援を実施

地域のMICE誘致力の強化

地域のMICE誘致力の強化のため、以下の取組が必要

コンベンション・ビューローの組織強化・高度化

ユニークベニューの活用促進

MICE誘致競争力の強化策の展開

海外先進コンベンション・ビューローを調査し、国内コンベンション・ビューローの高度化の検討・促進を図る

ユニークベニューにおけるMICE開催の普及・啓発のための実証支援事業を実施

MICE誘致・開催のためのプロモーション強化

国際学会本部への働きかけ、大手インセンティブ旅行取扱会社へのセミナー・商談会、MICE誘致アンバサダープログラム、海外MICE専門見本市出展、MICE専門誌の招請・記事広告等、日本のMICE開催地としての認知度の向上、誘致案件の発掘を図る。21

MICE誘致に向けた都市の取組の強化

- 近年、都市やコンベンションビューローによる新たな取り組みや、産学官民が一体となってMICE誘致に取り組む事例が見られる。
- ここでは大阪と福岡の取組事例を紹介。

大阪MICEビジネス・アライアンス

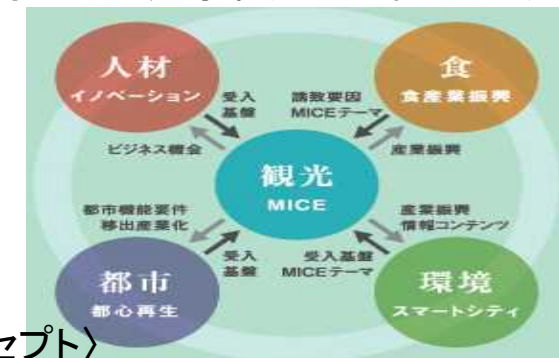
- 大阪観光局（（公財）大阪コンベンション協会）では、従来行政主導型であったMICE推進を、官民一体となったオール大阪としての取組へ移行し、MICE産業の更なる活性化に向けて「大阪MICEビジネス・アライアンス」を設置。
- 毎年大阪と東京において、会議主催者とMICE関連産業との商談等の機会として「大阪MICEディスティネーション・ショーケース」を開催。



〈大阪MICEディスティネーション・ショーケースの様子〉

福岡地域戦略推進協議会 (Fukuoka.D.C.)

- 福岡地域戦略推進協議会（Fukuoka D. C.）
福岡の新しい将来像を描き、地域の国際競争力を強化するために、地域の成長戦略の策定から推進までを一貫して行うために設立。
5つの部会（観光・環境・人材・都市再生・食）を設置し、観光部会の重点テーマは「福岡都市圏のMICE戦略MICE推進のワンストップ機能構築」。
- MICEビューローの設立
これまで（公財）福岡観光コンベンションビューローでは、観光とMICEを一緒にやってきたが、コンベンション施設、ホテル等との一体的な誘致・マネジメント体制の確立を目指し、平成26年4月、同ビューロー内にMICEビューローを設置し、MICEに特化して産学官民の共働により運営。



〈Fukuoka.D.C.のコンセプト〉

MICE誘致に向けた都市の取組の強化

■国内大学と地元自治体や関係機関との連携も、近年増えてきている。

東北大学



仙台市

「コンベンションの誘致・開催における連携・協力に関する協定」(2012年10月)

この協定を契機に、仙台市ではコンベンション推進室を設置し、推進体制を強化。

大学関係者のキーパーソンによる会議誘致立候補の促進。

京都大学



京都市

「国際学術都市としての魅力向上に関する連携協定」(2015年8月)

国際会議の誘致・開催促進のほか、海外からの留学生誘致の連携プロモーションや観光分野の人材育成などの取組を実施。

名古屋大学



名古屋観光
CB

2013年に名古屋市がグローバルMICE都市に選定されたことを受け、国際会議等誘致における連携協定を締結。(2014年3月)

海外における観光関連イベントにおいて、大学のPRブースの設置や、留学生の活用などの取組を実施。

広島大学



広島市
広島観光CB

「コンベンション誘致・開催のための連携・協力に関する協定」(2015年8月)

2015年に広島市がグローバルMICE都市に選定されたことを受け、国際会議等誘致における連携協定を締結。

ステークホルダーの連携の増進

■グローバルMICE強化都市の札幌市と航空会社のAIRDOが平成27年8月に「札幌市の観光・MICE振興に関する連携協定」を締結し、「国内外からのMICE誘致の強化」に向け、国内航空会社として初となるMICEに関する割引運賃を導入。

■官民が一体となってMICE誘致への取組みが進んでいる。

1. 具体的な取り組み

エア・ドゥ・・・国内航空会社として初となる、MICE参加者に適用する割引運賃として「MICE割引運賃」を設定
札幌市・・・運賃の対象となるMICEの認定を実施

2. 「MICE割引運賃」概要

(1) 運賃名称: 「MICE割引運賃」

(2) 設定開始日: 平成27年9月1日より

(3) 適用条件: 札幌市((公財)札幌国際プラザ)に申請を行ない、運賃の利用を認定されたMICEの主催者や運営者、参加者やその2親等以内の親族に適用。

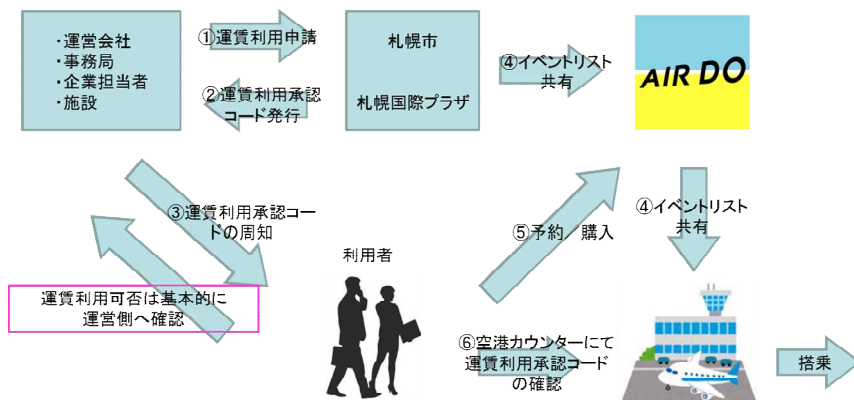
(4) 設定路線: 東京・札幌線

(5) 運賃額:

(単位: 円、消費税込み)

札幌＝東京線	9月	10月	11月	12月		1月		2月	3月			
	通常期	通常期	通常期	通常期	多客期	多客期	多客期	通常期	通常期	多客期	多客期	
	9/1-9/30	10/1-10/31	11/1-11/30	12/1-12/10	12/11-12/17	12/18-12/31	1/1-1/3	1/4-1/31	2/1-2/29	3/1-3/3	3/4-3/10	3/11-3/26
MICE割引運賃	22,400	22,400	22,400	22,400	23,300	32,100	32,100	22,400	22,400	22,400	23,300	32,100

(6) 運用フロー図:



出典: 株式会社AIRDOニュース

【ユニークベニューとは】

- 国際会議等の開催に際し、博物館や美術館、歴史的建造物、世界遺産などをレセプション会場、イベント会場として使用するケースが増えている。このように特別に開放された会場を「ユニークベニュー」(Unique Venue: 特別な場所)という。
- ユニークベニューでのイベントは、話題を呼ぶとともに参加者に文化や歴史的な体験を提供する機会を与え、MICEの成功と開催地を強く印象づけることができる。

【観光庁の取組】

- モデル事業を実施
- ユニークベニューとしての利用円滑化のための手引きやベストプラクティス集をとりまとめ
- ユニークベニュー候補施設をリスト化(日英)
観光庁HPにリスト化施設を掲載 http://www.mlit.go.jp/kankocho/page07_000020.html
- ユニークベニュー普及啓発のための実証支援事業(H28年度予算)

モデルイベントの事例



【城郭の活用】

小倉城天守閣前広場(北九州市)
ICIAE2015 エクストラパーティで活用

ユニークベニュー ベストプラクティス集

ユニークベニュー ベストプラクティス集

一地域ならではの施設の新たな可能性に向けて



MICEの利用者が求める
ユニークベニューの用途



Meeting
企業・団体のミーティング
①会場・設備が充実している → 会議、研修、会議
②リモートワークも対応している → オンライン、ハイブリッド



Incentive
企業・団体の研修旅行
①観光地や自然環境が美しい → 観光、研修、会議
②歴史・文化・自然が楽しめる → 研修、会議、イベント
③リモートワークも対応している → オンライン、ハイブリッド

ユニークベニューホームページ

The Saito Family Summer Villa

Historic building, Garden

Address
576 Niishi-Ohatacho, Chuoh-ku, Niigata city,
Niigata 951-8104 JAPAN

Transportation / Access

From

Park
Park
Stop
Other

Map

Types
Event
Other

Main
japan

Introducing to Facilities

The villa contains a Taisho Era circuit-style garden featuring a pond and springs, taking advantage of the natural undulations of the land, plus a set of buildings (including the central house, tea room, and arbor). Small groups of visitors can use the buildings for formal meals or tea ceremonies, reveling in rich Japanese hospitality. A national site of scenic beauty.

Inquiries

person in charge: Tsuyoshi Yokoi, Saori Hatano
Tel. +81-25-210-8350
Email:ytsuyoshi@mlit.go.jp

Availability of Foreign Languages

Available Not available

新潟市旧齋藤家別邸

歴史的建造物・庭園

住所
〒951-8104
新潟県新潟市中央区西大畑町576番地

交通・アクセス
JR新潟駅から車で10分

駐車スペース

駐車 大型バス:0台 普通車:0台
停車
その他

開催可能なスペース

■一階大広間

開催可能なイベントの種類	開催可能な人数	料金
レセプション / 懇親会 / 交流会 なまじり イベント の開催	15名	一人当たり300円
■茶室		
開催可能なイベントの種類	茶室体験	
最大収容人数	25名	4,000円(グループ) / 一人当たり300円

お問い合わせ先

橋本真 新潟空港
Tel.025-210-8350
Email:ytsuyoshi@mlit.go.jp

開催可能なイベントの種類

開催可能なイベントの種類	開催可能な人数	料金
展示会 / イベント / 懇親会 なまじり イベント の開催	25名	一人当たり300円

開催可能なイベントの種類

開催可能なイベントの種類	開催可能な人数	料金
展示会 / イベント / 懇親会 なまじり イベント の開催	25名	一人当たり300円



沖縄美ら海水族館

(写真)JNTOホームページより



日本平ホテル



東京シティビュー



京都 二条城

寺社・仏閣や文化施設・公的空間を利用したレセプションなどの開催は、海外からの参加者へ特別な体験を提供するおもてなし。

(写真)JNTOホームページより

リゾートMICE ・ リゾートミーティング

四季折々の風景や遊びが楽しめる
自然は大事な観光資源であり、
人を呼ぶ重要なコンテンツ



MICE誘致・開催のためのプロモーション 全体像

- 「2030年には、アジアNo.1の国際会議開催国としての不動の地位を築く」（「日本再興戦略」改訂2015）という目標を達成するため、JNTOによる戦略的な国際会議等（MICE）の誘致・開催を促進する。
- インセンティブ旅行における重点7市場※に対し、情報発信や誘致の働きかけを行う。
※中国、韓国、米国、タイ、台湾、インドネシア、マレーシア（「観光立国実現に向けたアクション・プログラム2015」）

➡ JNTOが中心となってMICE誘致・開催のためのプロモーションを実施

日本のMICE開催地としてのセールス

日本の開催地のセールス活動やブランドの普及を行うことにより、日本のMICE開催地としての認知度向上を図る

<具体的な取組>

- ◆ 国際学会本部への広報による働きかけ
- ◆ インセンティブアワードの実施・多言語ポータルサイト構築
- ◆ MICE専門誌の招請・記事広告
- ◆ ブランディングを活用した海外見本市

開催地決定権者のとりこみ

特定の企業・国際会議の開催地決定権者に対し、直接的にPRを行うことにより、日本でのMICE開催件数を増加させる

- ◆ 大手インセンティブ旅行取扱会社へのセミナー・商談会実施
- ◆ 国際的なMICE団体が実施する国際会議の誘致・開催
- ◆ 海外の有力MICEキーパーソンの招請

国内主催者の強化・育成

国際会議の国内主催者の強化・育成を行うことにより、MICE誘致力の強化を図る

- ◆ MICE誘致アンバサダープログラム
- ◆ 大学・学会事務局の基盤強化支援

日本のMICE開催地としてのセールス

- 海外における主要MICE見本市にブースを出展し、日本における受け入れ体制等を紹介するとともに、コンベンションビューローやサプライヤー等の共同出展者の商談をサポート。
- 海外MICE専門誌に日本紹介の広告を掲載予定



IMEX 2016(フランクフルト)の様子

【共同出展者】

自治体、コンベンションビューロー、
DMC、ホテル 等

【28年度の出展見本市】

- IT&CM China 2016 (上海) 会期：4月6日～8日
※ 共同出展者：東京、福岡、北九州、沖縄、高松 等 8団体(商談275件)
- IMEX 2016 (フランクフルト) 会期：4月19日～21日
※ 共同出展者：東京、大阪、京都、仙台、千葉、福岡、北九州、神戸 等 23団体(商談490件)



【28年度今後出展予定の見本市】

- IMEX America 2016 (ラスベガス) 会期：10月18日～20日
※ 共同出展者：15団体予定
- IBTM World 2016 (バルセロナ) 会期：11月29日～12月1日
※ 共同出展者：20団体予定
- AIME 2017 (メルボルン) 会期：2月21日～22日
※ 共同出展者：12団体予定



IT&CM China 2016(上海)の様子



世界の主要MICE見本市に出展。特にM/Iのセールスを強化。

国内主催者の強化・育成 ~MICE誘致アンバサダープログラム~

これまでの取組

MICEアンバサダー

- ◆ 主要分野の国際的リーダーをMICEアンバサダーに委嘱
(平成25年度は8名、平成26年度は5名)
- ◆ これまでに既に3件の大型国際会議の誘致に成功



<MICEアンバサダーが誘致した国際会議案件>

MICEアンバサダー 氏名	国際会議名	参加国数	参加数(外国人)	開催都市	開催年月日予定
陳 隆明	国際義肢装具協会 世界大会	70	5,000(3,000)	神戸	2019年10月
栗原 祐司	世界博物館大会	120	2,500(2,000)	京都	2019年9月
原科 幸彦	国際影響評価学会 世界大会	120	1,000(700)	名古屋	2016年5月

MICE誘致アンバサダーの新設 (平成27年8月)

- ◆ 国内の啓蒙活動に加え、より具体的な国際会議の誘致案件がある者を **MICE誘致アンバサダー** に認定(平成27年度は、上期8名、下期8名)
- ◆ これまで年1回であった認定の機会を、年2回に変更

支援内容

- 国際会議誘致立候補のための立候補書類の作成支援
- 日本をPRするプレゼンテーション資料やプロモーション映像の作成
- 誘致活動に係る国内・海外旅費の支払い
- キーパーソン招請に係る渡航費の一部負担

等

➡ **誘致成功案件のさらなる拡充を目指す。**

